

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日

上場会社名 藤森工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7917 URL <https://www.zacros.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山 英士  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 佐藤 道彦 TEL 03-5804-4221  
 管理部門管掌  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	31,893	△4.4	2,064	△16.8	2,201	△23.4	1,952	△21.8
2023年3月期第1四半期	33,348	6.8	2,480	△27.0	2,872	△19.4	2,496	4.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,383百万円 (△21.5%) 2023年3月期第1四半期 3,037百万円 (△2.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	103.75	102.74
2023年3月期第1四半期	131.16	129.70

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	131,797	91,394	63.6	4,454.76
2023年3月期	128,440	89,281	63.9	4,362.66

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 83,854百万円 2023年3月期 82,064百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	42.00	—	42.00	84.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	42.00	—	42.00	84.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	8.2	7,000	19.0	7,150	4.7	4,650	△4.2	247.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	19,267,760株	2023年3月期	19,267,760株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	444,193株	2023年3月期	457,056株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	18,814,523株	2023年3月期1Q	19,034,101株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、海外子会社が増収だったことに加え、重要性が高まった子会社を連結範囲に含めたため、ウェルネス事業、環境ソリューション事業、産業インフラ事業では増収となりましたが、情報電子事業では、半導体市場の冷え込みが続いており、層間絶縁フィルムの売上が前年同期比で大幅に下回りました。その結果当社グループの売上は前年同期比で減収となりました。

損益面では、原材料、エネルギーコスト増加の影響に対しては、生産効率の向上や価格転嫁などの収益改善施策を継続的に推進しておりますが、情報電子事業の減収影響や、研究開発費・戦略費をはじめとする固定費が増加したことなどから、前年同期比で減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高318億93百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益20億64百万円（前年同期比16.8%減）、経常利益22億1百万円（前年同期比23.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億52百万円（前年同期比21.8%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当年度の経営体制の変更に合わせて管理区分の一部見直しを行い、報告セグメントを従来の「ウェルネス事業」、「環境ソリューション事業」、「情報電子事業」及び「建築・土木資材事業」の区分から、「ウェルネス事業」、「環境ソリューション事業」、「情報電子事業」及び「産業インフラ事業」の区分に変更しております。

以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご覧ください。

#### (ウェルネス事業)

バイオ医薬品等製造用シングルユースバッグ及び関連製品では減収となったものの、医薬・医療用包装材において海外子会社を中心に売上を伸ばしたことから、増収となりました。また、医療機器及び体外診断薬関連製品において、開発先行費用投入を進めております。

この結果、売上高は66億72百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は4億39百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

#### (環境ソリューション事業)

OA機器関連包装では微減となったものの、液体容器では海外子会社を中心に売上を着実に伸ばし、つめかえ包装、食品包装でも前年同期を上回る売上を確保しました。損益面では、増収効果に加え、マレーシアの子会社を連結の範囲に含めたことなどにより、増益となりました。

この結果、売上高は85億21百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は5億61百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

#### (情報電子事業)

電子部材関連他については、前年度下期から継続している半導体市場の冷え込みの影響を大きく受け、減収となりました。ディスプレイ関連については、主力のプロテクトフィルムの需要は回復したものの好調だった前年第1四半期の水準に及ばず、前年同期を下回る売上となりました。損益面では、減収に伴い減益となりました。

この結果、売上高は88億8百万円（前年同期比24.5%減）、営業利益は1億12百万円（前年同期比86.5%減）となりました。

#### (産業インフラ事業)

化成品については、中国の子会社を連結の範囲に含めたことなどにより増収となりました。建築資材関連においては、空調用配管の売上が好調に推移しましたが、煙突工事及び集合住宅向けボイドスラブ(床構造部材)の売上は前年同期より微減となりました。土木資材関連については、トンネル用資材の売上が増加しました。事業全体では増収増益となりました。

この結果、売上高は78億90百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は9億50百万円（前年同期比43.6%増）となりました。

	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		前年同期比	
	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	33,348	100.0	31,893	100.0	△1,455	△4.4
ウェルネス	6,313	18.9	6,672	20.9	359	5.7
環境ソリューション	8,038	24.1	8,521	26.7	482	6.0
情報電子	11,667	35.0	8,808	27.6	△2,859	△24.5
産業インフラ	7,329	22.0	7,890	24.8	561	7.7
営業利益	2,480	7.4	2,064	6.5	△416	△16.8
ウェルネス	494	7.8	439	6.6	△55	△11.1
環境ソリューション	489	6.1	561	6.6	71	14.6
情報電子	834	7.2	112	1.3	△721	△86.5
産業インフラ	661	9.0	950	12.0	288	43.6

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、投資有価証券が減少しましたが、売上債権や有形固定資産、短期の有価証券、棚卸資産が増加したことなどにより、前年度末に対して33億56百万円増加の1,317億97百万円となりました。

負債は、未払金が増加したことなどにより、前年度末に対して12億43百万円増加の404億2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前年度末に対して21億13百万円増加の913億94百万円となり、自己資本比率は63.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月11日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,232	11,322
受取手形、売掛金及び契約資産	34,017	35,720
有価証券	19,389	20,606
商品及び製品	5,789	6,678
仕掛品	2,192	2,203
原材料及び貯蔵品	6,303	6,260
その他	2,911	2,760
貸倒引当金	△31	△32
流動資産合計	81,804	85,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,813	46,712
減価償却累計額	△27,849	△28,341
建物及び構築物(純額)	17,963	18,370
機械装置及び運搬具	63,075	65,156
減価償却累計額	△54,359	△55,663
機械装置及び運搬具(純額)	8,716	9,492
工具、器具及び備品	7,956	8,078
減価償却累計額	△7,068	△7,206
工具、器具及び備品(純額)	888	872
土地	8,443	8,542
建設仮勘定	2,711	2,493
その他	1,922	2,328
減価償却累計額	△660	△888
その他(純額)	1,262	1,440
有形固定資産合計	39,985	41,213
無形固定資産		
のれん	210	204
その他	680	752
無形固定資産合計	890	956
投資その他の資産		
投資有価証券	4,116	2,214
繰延税金資産	810	1,104
その他	845	852
貸倒引当金	△13	△63
投資その他の資産合計	5,758	4,107
固定資産合計	46,635	46,278
資産合計	128,440	131,797

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,978	22,348
短期借入金	1,112	1,306
未払金	3,791	4,830
未払法人税等	681	682
契約負債	340	224
賞与引当金	1,302	746
役員賞与引当金	91	29
その他	2,047	2,236
流動負債合計	31,345	32,405
固定負債		
長期借入金	875	850
繰延税金負債	68	65
退職給付に係る負債	4,811	4,856
役員退職慰労引当金	576	580
その他	1,481	1,644
固定負債合計	7,814	7,997
負債合計	39,159	40,402
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	6,498	6,507
利益剰余金	66,780	68,476
自己株式	△1,335	△1,297
株主資本合計	78,544	80,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,197	658
為替換算調整勘定	2,269	2,852
退職給付に係る調整累計額	53	56
その他の包括利益累計額合計	3,520	3,567
新株予約権	386	351
非支配株主持分	6,829	7,189
純資産合計	89,281	91,394
負債純資産合計	128,440	131,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	33,348	31,893
売上原価	26,052	24,754
売上総利益	7,296	7,138
販売費及び一般管理費	4,816	5,074
営業利益	2,480	2,064
営業外収益		
受取利息	16	33
受取配当金	166	30
受取保険金及び配当金	25	3
為替差益	126	20
補助金収入	0	3
リサイクル収入	18	20
その他	48	34
営業外収益合計	403	148
営業外費用		
支払利息	9	10
その他	1	0
営業外費用合計	10	10
経常利益	2,872	2,201
特別利益		
固定資産売却益	8	5
投資有価証券売却益	889	909
特別利益合計	897	914
特別損失		
固定資産除却損	0	6
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	6
税金等調整前四半期純利益	3,769	3,110
法人税、住民税及び事業税	1,113	1,022
法人税等調整額	△56	△75
法人税等合計	1,057	946
四半期純利益	2,712	2,163
非支配株主に帰属する四半期純利益	216	211
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,496	1,952



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,712	2,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△514	△535
為替換算調整勘定	835	751
退職給付に係る調整額	3	4
その他の包括利益合計	324	220
四半期包括利益	3,037	2,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,663	1,999
非支配株主に係る四半期包括利益	373	384

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、ZACROS MALAYSIA SDN. BHD. 及び深セン市 藤深科技材料有限公司 (FS China Co., Ltd.) は、今後、アジア・中国市場の戦略上の拠点として重要性が高まることから、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	産業 インフラ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,313	8,038	11,667	7,329	33,348	—	33,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	99	425	223	466	1,216	△1,216	—
計	6,413	8,464	11,891	7,796	34,565	△1,216	33,348
セグメント利益	494	489	834	661	2,480	—	2,480

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	産業 インフラ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,672	8,521	8,808	7,890	31,893	—	31,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	125	405	204	385	1,120	△1,120	—
計	6,798	8,927	9,013	8,275	33,014	△1,120	31,893
セグメント利益	439	561	112	950	2,064	—	2,064

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当年度の経営体制の変更に合わせて管理区分の一部見直しを行い、報告セグメントを従来の「ウェルネス事業」、「環境ソリューション事業」、「情報電子事業」及び「建築・土木資材事業」の区分から、「ウェルネス事業」、「環境ソリューション事業」、「情報電子事業」及び「産業インフラ事業」の区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(各報告セグメントの主要製品)

事業区分	製品分野	主要製品
ウェルネス	医薬・医療関連	医薬・医療用包装材
	バイオ関連	バイオ医薬品等製造用シングルユースバッグ及び関連製品 医療機器及び体外診断薬関連製品
環境ソリューション	生活包装及び産業包装関連	粧業包装、つめかえ包装、食品包装 OA機器関連包装(注)1
	容器	プラスチック製液体容器(バッグインボックス等)
情報電子	ディスプレイ関連	プロテクトフィルム(偏光板用プロテクト等) 剥離フィルム
	電子部材関連他	情報記録用材(層間絶縁フィルム等) 剥離フィルム その他情報関連機器用材
産業インフラ	建築資材関連	ビル用煙突、ボイドスラブ、空調用配管
	土木資材関連	トンネル用資材
	化成品(注)2	プラスチック原料・商品及び関連機械

(注) 1. OA機器関連包装については、情報電子事業から環境ソリューション事業へ事業区分を変更しております。

2. 化成品については、環境ソリューション事業及び情報電子事業から産業インフラ事業へ事業区分を変更しております。